平成27年度さくらねご無料不妊手術事業

協働ボランティア事後調査アンケート 集計結果

さくらねこ無料不妊手術事業とは

どうぶつ基金が動物愛護事業の基軸として行っている「さくらねこ無料不妊手術事業」は「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこ TNR (Trap/捕獲し, Neuter/不妊去勢手術を行い, Return/元の場所に戻す, その印として耳先をさくらの花びらのように V 字カットする)」を実施することで, 繁殖を防止し, 「地域の猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ, 「飼い主のいない猫」に関わる苦情や, 殺処分の減少に寄与する活動です。

平成27年度は 437 名(団体)のボランティア、24 の行政機関と協働し、8,046 頭のさくらねこ 無料不妊手術を実施しました。

1.アンケート概要

平成27年度に「さくらねこ無料不妊手術事業」の一環として発行している「さくらねこ無料不妊手術チケット(以下チケット)」に申請があった437件のうち、審査を通り実際にチケットを使用してNRを行った協働ボランティアへ事後調査アンケートを実施しました。



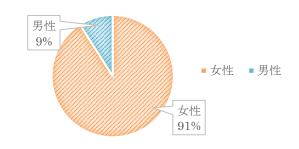
平成27年度さくらねこ無料不妊手術チケット一般枠申請者数 437件



アンケート回答数 233 件

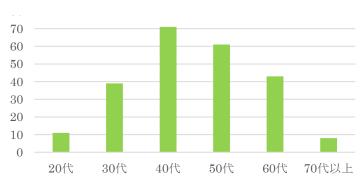
2.協働ボランティアの男女比

男性: 21名 女性: 212名



3. 年齢層

23 歳から 80 歳 平均年齢 49.5 歳



4. 協働ボランティアの活動内容調査

活動内容(n=233)		
募金や物資の寄付を募っている	56	24%
収支決済書を作成している	41	18%
行政の地域猫活動グループ等に登録している	45	19%
餌やりを行っている	160	69%
猫の糞尿処理を行っている	120	52%
保護里親探し活動を行っている	186	80%
該当項目なし	9	4%

5. TNR を実施した地域の猫の変化調査

TNRを実施した地域の猫に関して(n=233)		
出産が減った・ゼロになった	150	65%
ノラ猫が減った・増えていない	176	76%
性格が穏やかになった	129	56%
発情期の声が減った・無くなった	144	62%
ほぼ手術が完了した	58	25%
猫が増えた	13	6%
変化が見られない	15	6%

6. TNR を実施した地域住民との関わりの変化調査

TNRを実施した地域住民との関わりの変化について	(n=233)	
住民の理解が得られた	138	59%
住民の理解が得られない	28	12%
苦情が減った	110	47%
苦情が増えた	6	3%
餌やりさんのマナーが改善された・意識が向上し	102	44%
協力してくれるひとが増えた(できた)	155	67%
地域の人に感謝されることがあった	152	66%
可愛がってくれる人がふえた	99	43%
変化なし	21	9%

7. 今後の課題や問題調査

今後の課題や問題(n=232)		
人手不足	153	66%
資金不足	192	83%
捕獲がうまくできない	79	34%
地域住民とのトラブル	52	22%
活動グループ内の人間関係	18	8%
他の活動団体とのトラブル	10	4%
ボランティア以外の置き餌	97	42%
特になし	10	4%

8.ピックアップコメント

- 手術済みの雄の移動が減ったため、餌場の管理がしやすくなった
- 不妊手術をしたのら猫たちは性格が穏やかになるので、地域住民が可愛がって下さるようになりました。

その結果、衛生状態のよいのら猫が増えて町のイメージが良くなり、町が平和になりました。

- ●猫の糞尿に困り、猫の事も餌やりさんの事も忌み嫌っていらした方も、さくらねこの意味を知って頂いた結果、随分とお気持ちを沈めて頂き、「もう増えないなら、せっかく生を受けた生き物だし、仕方ないね。」と猫達に温かい目を向けて頂けるようになりました。その結果、餌やりさんとの人間関係やご近所トラブルもかなり改善され、地域の人的環境の改善に貢献させて頂くことができました。、、
- ●手術と同時に、公園の置き餌や放置されている皿などの片づけを続けていくことで、放置 自体も減ってきた気がします。また以前はあった「餌やり禁止」の張り紙もなくなりまし た。
- ●えさやりさんのマナーが向上したことで、猫への意地悪(油をかける、えさやりするなと 言われる、えさをぶちまける)が減りました。
- ●お陰様で、無料チケットがあるので、地域住民にお話がしやすいし、理解や協力を得ることがしやすいです。

- ●当該地域のTNRに初めて着手した8年前に比べると、猫の数は激減しております。TNRを地道につなげることで、自分でも驚くほど成果が上がっております。
- ●TNR 場所の住民さんとかかわる事により、関心を持ってくれるようになる。また、猫に対して嫌悪感を持っていた人にも、TNR を説明実行することで、理解を得ることが出来た。そして、地域住民の方々で助けて下さる方が、TNR 現場の各場所に出来ました。何かあったときに、連絡して下さったり、ご寄付を下さったりしました。その為、子猫や人懐こい猫を保護して里親募集して里親さんを見つけることも出来ました。
- ●仲間が増えて、公園猫サポーターが、3名から、10名にふえました。大学生が、卒業論 文にさくら猫活動を 取り上げたり、小学生が卒業文集に、書いてくれたりと、活動の輪 が広がっており、楽しく活動しております。
- ●手術をしたことで行動範囲が狭くなったのか、道路を渡って事故に遭う子がとても減りました。

